

2013 年 5 月 20 日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 松行 美帆子

フィリピン国 環状 3 号線建設事業（協力準備調査（有償））
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2013 年 4 月 12 日（金）14:02～16:56
- ・場所：JICA 本部（会議室：2 階 229 会議室）
- ・ワーキンググループ委員：作本委員、田中委員、早瀬委員、松行委員、満田委員
- ・議題：フィリピン国環状 3 号線建設事業 協力準備調査に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・配付資料：フィリピン国環状 3 号線建設事業準備調査スコーピング案事前配布資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010 年 4 月）

全体会合（第 36 回委員会）

- ・日時：2013 年 5 月 10 日（金）14:30～17:38
- ・場所：JICA 本部（会議室：229 会議室）

上記の会合に加え、メール審議により助言を確定した。

助言

全体事項

1. 事業の特性についてより詳細に最終報告書案で記述すること。
2. 道路建設以外の渋滞緩和策についても最終報告書案に記述すること。
3. EIA 報告書の項目に「事業活動の概要」を加えること。

代替案の検討

4. 代替案比較のための評価項目や評点配分を決めたプロセスも含めて、最終報告書案において十分に説明すること。
5. 代替案検討の対象とした事業計画が河川へ及ぼす影響、及び河川が事業計画へ及ぼす影響について、適切に最終報告書案に記載すること。
6. ゼロオプションについても比較評価を行い、最終報告書案に記載すること。

スコーピングマトリックス

7. スコーピングにおける評価の際に誘発交通による影響に関しても考慮すること。
8. スコーピング案の「雇用や生計手段等の地域経済」の評価に移転住民の生計の喪失を加え、評価を A-とすることを検討すること。その上で、河川の利用などにも留意した上で生計の喪失に関する評価を行うこと。

環境配慮

9. 河川近傍において実施される対象事業の建設工事に伴う環境配慮について、最終報告書案に記載すること。
10. 現況調査の項目として「地盤・地質」を追加すること。
11. マニラ首都圏の二ノイ公園（自然保護区）への本事業の環境影響について、最終報告書案に記載すること。

社会配慮

12. 以下について調査を行い、非正規居住者にとって現実的な移転計画にすること。また住民移転による社会影響の最小化に努めること。
 - ・ 周辺の土地及び河川の利用の状況、生計や職業についての社会経済調査
 - ・ 被影響住民の周辺のインフラの利用状況
 - ・ 移転先候補地の有無、距離、条件
 - ・ 被影響住民の土地・家屋の再取得価格
13. フィリピン地方自治体(Local Government Units: LGUs)で策定している非正規居住者の移住計画の内容について十分に確認すること。

ステークホルダー協議・情報公開

14. バランガイの住民代表者のみならず、貧困者や発言力が弱い住民の意見がききとれるような形での協議を行うこと。非正規居住者や女性などをターゲットとした協議を各ステークホルダーの特性に応じて行うこと。
15. 代替案の検討についても協議に含めること。

以上